

ひよひびじ 企業探訪

2023 学生が聞く

③

日本最大規模の生活協同組合。組合員数約173万人で、兵庫県内の6割以上の世帯が加入する。宅配と店舗事業を2本柱に、多世代交流や子どもへの支援にも組合員とともに取り組んでいる。武庫川女子大社会情報学部の赤岡仁之教授のゼミ生が、岩山利久組合長(61)を訪ねた。

「『困ったときはお互いさまで』。100年前から変わっていません。事業を通じて暮らしをより良くするとともに、剰余金は防災や平和に関する活動、奨学金などに充てて、社会へ還元する。生協は、事業エリアが決まっており、他の場所には移れません。出資者であり利用者である組合員に喜んでもらえてこそ、地域で存在していけます」

生活協同組合コープこうべの岩山利久組合長(左)に話を聞く武庫川女子大3年の浜田凜々花さん(神戸市東灘区住吉本町1)



生活協同組合コープこうべ

(神戸市東灘区)

岩山利久組合長(61)

「目指す地域の姿とは。」

「『誰もが住み慣れたまちで安心して暮らし続けられ

メモ 事業エリアは兵庫県内と大阪府北部、京都府の一部。2023年3月期の供給高(売上高、単体)は約2448億円、職員数は9456人。24年春の採用予定者数は60人。☎078・856・1080



る』ことです。年齢や障害の有無にかかわらず、買い物に行け、働ける地域でありたい。送迎による買い物支援、配食サービスを通じた見守り、障害者雇用などを進めています。持続可能で安心な社会を目指し、今年7月に循環型農

収益は社会に還元

「若い世代との接点は。業を手がける農業法人を子会社化しました」

「多世代交流に力を入れています。高校生が高齢者にスマートフォンを使い方を教える教室は好評ですよ。高校生向けの奨学金制度を創設し、新型コロナウイルス禍で大学生がアルバイトしづらい時期には食料品を配布しました。300力以上の子ども食堂と食材提供などでつながり、顕彰制度で高校生のボランティア活動を後押ししています」

「今の若者は地域に貢献したい気持ちが高く、SDGs(持続可能な開発目標)への関心も高い。コープの取り組みを伝え、一緒に地域の未来をつくる仲間となってもらいたいですね」 (広岡磨璃)



高齢者にスマートフォンの使い方を教える高校生